

適塾かわら版

巻一



「適塾かわら版」は大阪大学適塾記念センターのニューズレターです。

適塾人物かみ

其の一 緒方洪庵

蘭方医 教育者 幕府奥医師
西洋医学所頭取

生没 文化七年(文久三年)1810(63)
出身 足守藩(岡山市北区足守)
業績 『病学通論』(1849)、『虎狼痢治準』(1858)、『扶氏経験遺訓』(1857)ほか

武士の家に生まれるも、病弱なため医師を目指す。大坂・江戸・長崎で蘭学を学んだ後、大坂で適塾を開いた。適塾では福沢諭吉・大村益次郎ら日本の近代化に貢献する数多くの人材を育てる一方、医療活動と医学書の著述を行った。また天然痘予防のワクチン接種を施す除痘館を拠点に、西日本を中心に種痘を普及させた。洪庵の名声は江戸にもとどろき、幕府奥医師に就任したが、江戸での暮らしは苦勞多く、一年も経たずに他界した。

「医の世に生活するは人の為なり、おのれがためにあらず」(『扶氏医戒之略』1857)



適塾見どころ

其の一 正面外観



都会に残された江戸の佇まい!
高層ビルが立ち並ぶオフィス街、淀屋橋・北浜界隈。そこに時が止まったかのような佇まいを残す日本建築が適塾です。町人の店舗兼住宅である町屋建築として、商業都市・大阪に残る最古級のものでもあります。
大きな人災から適塾は奇跡的に免れました!
大塩平八郎の乱(1837年)
大坂大空襲(1945年)
今年から180年!

近代化の爪痕、軒切り!

適塾の正面は今から約1000年前、前面の道路拡張により2尺(約60cm)ほど切り取られ(軒切り)。その結果、軒先が40cmほど低くなっています。間口6.25間(約11.5m)と、大坂の町屋としては大規模な適塾の表構えは、大阪市立住まいミュージアム(天神橋6丁目)によって復原され、同館に展示されています。

電線地中化で取り戻される景観!

近年、都市部が進められている電線の地中化は適塾周辺でも既に実施されています。そのメリットは交通上・防災上の安全のほか、電柱・電線が視界から見えなくなる景観面にあります。洪庵や適塾生が見た風景を切り取る事ができるかも知れません。



レトロな銭湯風呂ロッカー

適塾参観案内

【最寄り駅】京阪淀屋橋駅・北浜駅、地下鉄淀屋橋駅
下車 徒歩5分
【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日(国民の祝日は開館)
国民の祝日の翌日(土・日・祝は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)
【参観料】一般 260円 中学生以下 無料
※適塾記念会会員および阪大生は無料!
住所: 大阪市中央区北浜3丁目3-8
電話: 06-6231-1970

荷物を預けて快適に見学できます。

平成二十八年丙申 適塾見学会 開催要綱

夏季見学会(北浜周辺)「適塾とその周辺をたずねる」

- 1 北浜金相場会所跡**
江戸時代、金・銀を売買するため設置された。寛保3年(1742)、高麗橋筋からこの地に移転。現在は五代友厚像と大阪証券取引所が立中央区北浜1
- 2 俵物会所跡**
近世長崎からの重要輸出品であった俵物(煎りたまご・干しアワビ・フカヒシ)の仕入・取扱を行う会所。長崎・箱館にも置かれ、大坂では延享元年(1744)設置、安永6年(1777)この地へ移転された。中央区北浜2
- 3 平野屋五兵衛邸跡**
大坂の十人両替で幕府の御用を務めた両替商の屋敷跡。両名にちなみ俗にこの地を十兵衛横町と呼び、現在は開平小学校前に「天五に平五十兵衛横町」と刻まれた石碑が立つ。中央区今橋1
- 4 天王寺屋五兵衛邸跡**
江戸幕府が銅の精錬・売買・輸送を行った機関。江戸に向かう長崎オランダ商館員の宿所ともなった。明治34年(1901)、大阪市立愛珠幼稚園がこの地へ移転して新築した園舎が、現存日本最古の幼稚園建築で、重要文化財となっている。中央区今橋3
- 5 鴻池善右衛門邸跡**
清酒発祥伝説や鴻池新田で有名な大坂随一の豪商・鴻池家は、海運業・大名貢・両替商で財を成した。2代・3代・宗利から善右衛門を代々名乗った。昭和22年(1947)からは大阪美術倶楽部が入る。中央区今橋2
- 6 大坂除痘館跡**
嘉永2年(1849)に緒方洪庵らが開設。万延元年(1860)にこの地へ移転した種痘所。大坂除痘館は西日本の種痘普及の中心となった。現在は緒方洪庵記念財団が所有する緒方ビルが建ち、除痘館記念資料室(白・祝休館)を無料で見学できる。中央区今橋3
- 7 銅座跡**
江戸幕府が銅の精錬・売買・輸送を行った機関。江戸に向かう長崎オランダ商館員の宿所ともなった。明治34年(1901)、大阪市立愛珠幼稚園がこの地へ移転して新築した園舎が、現存日本最古の幼稚園建築で、重要文化財となっている。中央区今橋3



秋季見学会(中之島周辺)「近世(近代)大阪の金融経済」

- 1 広島藩蔵屋敷跡・大阪医学学校跡**
有数の規模を誇った広島藩蔵屋敷は船入を備え、安芸の宮島を模した蔵島神社があった。大阪医学学校は明治12年(1879)にこの地へ移転。大阪大学医学部へとつながる。北区中之島4
- 2 蛸の松跡**
初代広島藩主・福島正則が植えた黒松。蛸の泳ぐ姿に似た枝ぶりから名付けられた。北区中之島4
- 3 中津藩蔵屋敷跡・福沢諭吉誕生地**
福沢諭吉は天保5年(1834)、中津藩士・福沢百助の次男としてここで生誕した。百助は大坂で藩債を司り、加島屋等の豪商との交渉に当たった。当地は阪大病院跡地でもある。福島区福島1
- 4 堂島米会所跡碑**
元禄10年(1697)に中之島から移転した米市場で、天満青物市場・雑魚市場とともに江戸時代大坂の三大市場。全国の米相場の基準となった。北区堂島浜1
- 5 大同生命大阪本社**
明治35年(1902)に広岡浅子等が創業。大正14年(1925)、鴻池加島屋本家が代表する豪商・ヴォーリス設計の日本本社ビルが竣工した。西区江戸堀1

参加者の声
朝ドラで興味をもったゆかりの場所や歴史、関連するエピソードを大変楽しく拝聴させて頂いた。(秋季)

事務職員▶適塾を見学した後は、中之島センターで当館の歴史の食事をイメージした適塾御膳を食べるのもいいかも。

大阪大学適塾記念センターとは

2011年、大阪大学創立80周年を機に適塾記念センターが設立されました。適塾運営・大阪学・オランダ学の三部門を擁し、適塾建物および歴史資料の維持管理、近世以降の大阪の学問・文化や日蘭関係史の研究を行うほか、阪大の源流の一つである適塾を顕彰するため、見学会・展覧会・講演会等の様々な社会教育事業を展開しています。



何ぞや？

【平成二八年度のイベント】

◎適塾特別展示「洪庵・惟準から伝わる緒方家の至宝―新寄贈資料展―」

（於適塾・5/31〜6/12）
前年度に寄贈された緒方惟之氏（洪庵玄孫）旧蔵資料を一般公開しました。洪庵直筆の「除痘館記録」や洪庵肖像等、著名な資料を間近に見ることが出来る貴重な機会となりました。

◎講演会

適塾講座「歴史のなかの適塾―私たちが適塾から何を学び、どう語ってきたか―」

（於中之島センター）
ハルメン・ポイケルス（長崎大、ライデン大）「ヨーロッパ医学の伝播における適塾の決定的役割」(10/22)
廣川和花（専修大）「戦後大阪の医学史研究と適塾」(11/5)
青木歳幸（佐賀大）「適塾の歴史の評価について」(12/3)

公開講座「フェスタ」（於大阪府庁・11/9）
松永和浩（適「フニ・甲冑・蘭学塾」）

適塾記念講演会（於中之島センター・12/26）
栗本英世（人）「ローカル／ナショナル／グローバルの往復運動」
三浦雅博（工）「豊かな現代社会を支える有機合成化学の進化」

特別セミナー（於豊中キャンパス・10/12）
ヤン・デ・ホント、メン・フィツキ（オランダ国立博物館）

「細い橋―オランダ国立博物館所蔵品が語る日蘭関係史―」



適塾記念会 入会のスゝメ

適塾記念会は緒方洪庵・適塾およびその関係者の業績を顕彰し、大阪の学問・文化の伝統を発信することを目的に、1952年に創設されました。また適塾建物や適塾関係資料等の文化財保護活動にも取り組んでいます。適塾記念会に入会し、これらの活動にご支援・ご協力をお願いします。



【会費】 普通会員 年間一口 二、〇〇〇円
賛助会員 年間一口 一〇、〇〇〇円

いずれも複数年・複数口での申し込み可。
普通会員五年間（一万円）がおスゝメ！

会員特典

- 特典① 適塾の参観料がいつでも無料！
- 特典② 適塾見学会（年二回）の参加が可能に（無料）！
- 特典③ 会誌『適塾』（年刊）を無料でお届け！
投稿資格もあり！
- 特典④ 「大阪大学適塾記念センター」所蔵
適塾関係資料目録』を希望者に無償頒布！
- 特典⑤ 適塾で販売する図録『緒方洪庵と適塾』・絵葉書・
「扶氏医戒之略（複製）」が一割引き！
- 特典⑥ イベントの案内を随時お届け！

※詳細については大阪大学適塾記念センターHPをご覧ください。

